



萬運輸 デザイントラック納車

コンセプトは「人材や求人」

のが会社説明会だ。同社では、2022年から求職者向けの説明会を定期開催しているほか、オンラインを活用しながら求職者の都合に合わせて個別対応も行っている。こうした柔軟な対応は今後も継続する方針だ。説明会から職場見学、質疑応答など、段階を踏んで仕事や会社への理解を深めてもらい、ミスマッチを防ぐ。公式HPやSNSでも説明会の告知はしているものの十分とはいえないため、デザイントラックを使って周知することにより多くの人にPRする。

今回のトラックをデザインするにあたって、重要な役割を担ったのが、経営企画室の川島実央子係長。同社では生成AIを活用したデザイントラックも活躍しているが、今回はすべて社員によるもの。オリジナルキャラクターの「しゃちょうくん」をはじめ、川島係長のイラストが全面的に使用された。林部長と川島係長が相談しながら具現化していった。

人材戦略について、東海林社長は「募集というトラックドライバーばかりが注目されるが、整備士や事務員など全方で募集をかけたい」と語る。採用に加え、教育にも注力していくが、その内容は法定項目にとどまるものではない。「人間関係も認知判断が必要」と同社長。スムーズな人間関係を構築していくうえで必要な知識を身につけるための研修を実施する。「100人のドライバーで100人の社長候補がいるとありがたい。皆が仕事を覚えて『全員力』でできたら、そんな強い会社はない」と語る。

萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）に新たに2台のデザイントラックが導入された。デザインのコンセプトは「人材や求人」だ。

「ここ数年にわたってドライバー職の求人を強化してきた。一方で、整備士やバックオフィスなど、将来、誰がこの会社を支えていくか、厳しい状況があった」と経営企画室の林善大部長は指摘する。同社では8月から新期を迎えるにあたり、人材採用の目標を立て取り組んでいる。

近年の採用で重要な役割を担っている